

議員提出議案第8号

高齢者の安全運転支援と移動手段の確保に関する意見書

上記の議案を提出する。

令和元年9月26日

墨田区議会議長

田中邦友様

提出者	墨田区議会議員	加藤拓
	同	沖山仁
	同	しもむら緑
	同	坂井ユカコ
	同	おおこし勝広
	同	はねだ福代
	同	高柳東彦

## 高齢者の安全運転支援と移動手段の確保に関する意見書

本年4月に発生した、東京・池袋で87歳の高齢者が運転する車が暴走し、母子二人が亡くなった事故以降も高齢者による事故が続いています。

近年、交通事故の発生件数は減少傾向にありますが、75歳以上の高齢運転者による死亡事故の割合は高まっており、単純ミスによる事故も目立ちます。

警察庁は、平成30年末時点で約563万人いる75歳以上の運転免許保有者が、令和4年には100万人増え、663万人に膨らむと推計しています。

こうした状況を踏まえ、国は平成29年施行の改正道路交通法で、75歳以上の運転免許保有者に対し、交通違反時や運転免許更新時に認知機能検査を受けることを義務付けましたが、今や高齢運転者の安全対策及び安全運転支援の取組は待ったなしの課題となっています。

また、過疎地域を中心に、いまだ「生活の足」として自動車が欠かせない高齢者も多い中、自主的に運転免許を返納した場合などの地域における移動手段の確保も重要な取組です。

よって、墨田区議会は、政府に対し、地方自治体や民間事業者とも連携しながら、総合的な事故防止としての、高齢運転者の安全運転支援と地域における移動手段の確保を進めるため、下記事項について取り組むよう強く要望します。

### 記

- 1 自動ブレーキやペダル踏み間違い時の急加速を防ぐ機能など、ドライバーの安全運転を支援する装置を搭載した「安全運転サポート車（サポカーS）」や後付けの「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」の普及を一層加速させるとともに、高齢者を対象とした購入支援策を検討すること。
- 2 高齢運転者による交通事故を減らすため、自動ブレーキなどを備えた「安全運転サポート車（サポカーS）」に限定した運転免許の創設や、走行できる場所や時間帯などを制限した条件付き運転免許の導入を検討すること。
- 3 運転免許を自主返納した高齢者が日々の買い物や通院などに困らないよう、コミュニティバスやデマンド（予約）型乗合タクシーの導入など「地域公共交通ネットワーク」の更なる充実を図ること。また、地方自治体などが行う、運転免許の自主返納時における、タクシーや公共交通機関の割引制度などを支援すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

令和元年9月 日

墨田区議会議長名

内閣総理大臣

総務大臣  
経済産業大臣  
国土交通大臣  
国家公安委員会委員長

あて